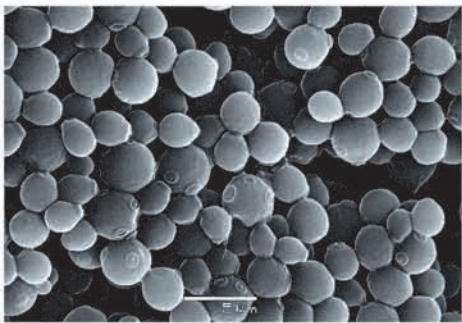


# 石割桜の酵母

「石割桜酵母」を活用して、  
被災地に「元気」を、ご支援いただいた方々に「感謝」を。



石割桜の花びらから採集された酵母の電子顕微鏡写真



(イメージ図)



(パンは、岩手県立盛岡農業高校食品科学科パン研究班の皆さん、ビールは、世嬉の一酒造株式会社、岩手県工業技術センターとの共同開発)



## 北里大学海洋バイオテクノロジー釜石研究所

〒026-0001 岩手県釜石市平田3-75-1 TEL 0193-26-6621

北里大学海洋バイオテクノロジー釜石研究所は、海から数メートルしか離れていない場所に立地しています。そのため、3月11日の大津波により甚大な被害を受けました。岩手県内の名花名木から採集した「石割桜の酵母」をはじめとする「いわて花咲酵母」は研究所の瓦礫の中から救出されました。瓦礫から救い出された「石割桜の酵母」を活用して、“被災地に「元気」を、ご支援をいただいた方々に「感謝」を届けよう”と、県内の高校、大学、研究所、自らも被災した会社、岩手県、釜石市等の地元自治体の皆様方のご支援のもと、形にすることができました。こうしてできた商品に、被災地からのメッセージを感じていただければ幸いです。



盛岡／石割桜



北上／展勝地ソメイヨシノ

## ☆ いわて花咲酵母採集地



遠野／夫婦桜



大船渡／三面椿

## いわて花咲酵母を採集した岩手県内の名花名木

### 盛岡 石割桜

盛岡市の官庁街にあたる内丸あたりは、ビジネスマンが足繁く往来し、車やバスが列をなしている都市機能の中心地。石割桜はそんな街の真ん中に、どっしりと存在感を呈し、街の移り変わりを見守り続けている、樹齢約三百五十年のエドヒガンです。石割桜のある盛岡地方裁判所の場所には、かつて盛岡藩主南部家の家老の屋敷があり、花崗岩の庭石の割れ目に桜の種が飛んできて芽を出し、成長ともどもに石の割れ目を押し広げていったものと言われています。大正12年、国の天然記念物に指定され、市民に愛され続け、今では幹の周囲4.6メートル、樹高10.6メートル、枝の張りが17メートルという見事な大木となっています。(岩手県庁 HPより)

### 北上 展勝地の桜並木

今年で開園90周年を迎えた北上展勝地は、悠々と流れる北上川の河畔にあり、東北有数の桜の名所として知られ、「さくらの名所100選」「みちのく三大桜名所」に数えられています。珊瑚橋から2キロにわたる桜並木の他にも、約150種の様々な桜が、展勝地公園内293haに1万本あると言われ、4月中旬ごろに咲き始めるソメイヨシノから5月上旬のカスミザクラまで美しさを競います。(北上展勝地さくらまつり HPより)

### 遠野 夫婦桜

「夫婦桜」は、遠野松崎町光興寺にある。杉と桜が根元で抱き合い、長い年月寄り添う姿は夫婦のようであることから、「夫婦桜」と名付けられ、遠野遺産に指定されている。素八幡官は、南部氏が寛文元年(1661)に八幡官を現在の踊鹿山に遷宮した後、荒廃していたが明治以降に復興されました。(「遠野物語」現在進行形 HP参照)

### 大船渡 三面椿

三面椿は大船渡市末崎町の熊野神社境内にあるヤブツバキで、樹齢1400年の日本最大木です。社殿の東・西・南の三面に植えられたことから三面椿と呼ばれていますが、現存するのは東側の一株のみです。地際から数本の支幹に分かれ、それぞれ斜め方向に伸び、多数の花をつけ壮観で、県指定天然記念物になっています。ここは高台にあり津波の避難所になっておりましたが、すぎ近くまで、津波が到達したらしく、直下の民家は破壊されていたということです。幸い熊野神社境内と三面椿は無事で今年も綺麗な椿が咲いていました。(世界の椿館・基石 HP参照)



津波被害で壊滅した研究所一階施設

北里大学海洋バイオテクノロジー釜石研究所は、被災後も被災地を離れることなく、酵母、乳酸菌、海洋微生物等の微生物を活用した「ものづくり」「物質生産」「環境浄化」等の技術を活用して被災地企業支援を行っています。ご賛同いただける企業、研究機関等の方々のご参加、ご支援をお待ちしています。



7月、電気が復旧した研究所